水　蒸留水，精製水，純水等の化学分析に適したものを用いる。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には，ｎ－ヘキサン等の溶媒で洗浄したものを用いる。

メタノール　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。

３．標準品

プロファム　本品はプロファム98％以上を含む。

４．試験溶液の調製

ａ　抽出法

①　穀類，豆類及び種実類の場合

試料10.0ｇに水20mLを加え，30分間放置する。これにアセトン100mLを加え，ホモジナイズした後，吸引ろ過する。ろ紙上の残留物にアセトン50mLを加えてホモジナイズし，吸引ろ過する。得られたろ液を合わせ，アセトンで正確に200mLとする。この溶液から正確に20mLを分取し，40℃以下で約３mLまで濃縮する。これに10ｗ／ｖ％塩化ナトリウム溶液100mLを加え，ｎ－ヘキサン100mL及び50mLで２回振とう抽出する。抽出液を合わせ，無水硫酸ナトリウムを加えて脱水し，無水硫酸ナトリウムをろ別した後，２vol％ジエチレングリコール・アセトン溶液0.2mLを加え，40℃以下で濃縮し，溶媒を除去する。この残留物にｎ－ヘキサン30mLを加え，ｎ－ヘキサン飽和アセトニトリル30mLずつで２回振とう抽出する。抽出液を合わせ，40℃以下で濃縮し，溶媒を除去する。この残留物にアセトン４mLを加えて溶かし，水16mLを加える。

②　果実及び野菜の場合

試料20.0ｇにアセトン100mLを加え，ホモジナイズした後，吸引ろ過する。ろ紙上の残留物にアセトン50mLを加えてホモジナイズし，吸引ろ過する。得られたろ液を合わせ，アセトンで正確に200mLとする。この溶液から正確に10mLを分取し，40℃以下で約２mLまで濃縮する。これに10ｗ／ｖ％塩化ナトリウム溶液100mLを加え，ｎ－ヘキサン100mL及び50mLで２回振とう抽出する。抽出液を合わせ，無水硫酸ナトリウムを加えて脱水し，無水硫酸ナトリウムをろ別した後，２vol％ジエチレングリコール・アセトン溶液0.2mLを加え，40℃以下で濃縮し，溶媒を除去する。この残留物にアセトン４mLを加えて溶かし，水16mLを加える。

③　茶及びホップの場合

試料5.00ｇに水20mLを加え，30分間放置する。これにアセトン100mLを加え，ホモジナイズした後，吸引ろ過する。ろ紙上の残留物にアセトン50mLを加えてホモジナイズし，吸引ろ過する。得られたろ液を合わせ，アセトンで正確に200mLとする。この溶液から正確に40mLを分取し，40℃以下で約６mLまで濃縮する。これに10ｗ／ｖ％塩化ナトリウム溶液100mLを加え，ｎ－ヘキサン100mL及び50mLで２回振とう抽出する。抽出液を合わせ，無水硫酸ナトリウムを加えて脱水し，無水硫酸ナトリウムをろ別した後，２vol％ジエチレングリコール・アセトン溶液0.2mLを加え，40℃以下で濃縮し，溶媒を除去する。この残留物にアセトン４mLを加えて溶かし，水16mLを加える。

レン製のカラム管に，オクタデシルシリル化シリカゲル1,000mgを充てんしたもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。

カラムクロマトグラフィー用シリカゲル（粒径63～200μm）　カラムクロマトグラフィー用に製造したシリカゲル（粒径63～200μm）を130℃で12時間以上加熱した後，デシケーター中で放冷する。

グラファイトカーボン及びアミノプロピルシリル化シリカゲル積層ミニカラム（500mg／500mg）　内径12～13mmのポリエチレン製のカラム管に，グラファイトカーボン500mg及びアミノプロピルシリル化シリカゲル500mgを充てんしたもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。

ケイソウ土　化学分析用ケイソウ土を用いる。

トルエン　トルエン300mlをすり合わせ減圧濃縮器を用いて濃縮し，トルエンを除去する。この残留物をｎ－ヘキサン５mlに溶かし，その５μlを電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフに注入して試験するとき，ガスクロマトグラム上のｎ－ヘキサン以外のピークの高さは，２×10^{-11}ｇのγ－ＢＨＣが示すピークの高さ以下でなければならない。

ｎ－ヘキサン　ｎ－ヘキサン300mlをすり合わせ減圧濃縮器を用いて５mlに濃縮し，この５μlを電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフに注入して試験するとき，ガスクロマトグラム上のｎ－ヘキサン以外のピークの高さは，２×10^{-11}ｇのγ－ＢＨＣが示すピークの高さ以下でなければならない。

水　蒸留水を用いる。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には，ｎ－ヘキサン等の溶媒で洗浄したものを用いる。

無水硫酸ナトリウム　無水硫酸ナトリウム（特級）。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には，ｎ－ヘキサン等の溶媒で洗浄したものを用いる。

0.5mol／１リン酸緩衝液（pH7.0）　リン酸二ナトリウム（十二水和物）136.85ｇ及びリン酸一ナトリウム（二水和物）17.92ｇを量り採り，水に溶解して1,000mlとする。

３．標準品

プロファム　本品はプロファム99％以上を含む。

融点　本品の融点は87℃である。

４．試験溶液の調製

ａ　抽出法

①　穀類，豆類及び種実類の場合

検体を420μmの標準網ふるいを通るように粉砕した後，その10.0ｇを量り採り，水20mlを加え，15分間放置する。

これにアセトニトリル50mlを加え，３分間細砕した後，ケイソウ土を１cmの厚さに敷いたろ紙を用いて吸引ろ過する。ろ紙上の残留物を採り，アセトニトリル20mlを加え，３分間細砕した後，上記と同様に操作して，ろ液を合わせ，アセトニトリルを加えて100mlとする。

上記の溶液20mlを100mlの分液漏斗に採り，塩化ナトリウム10ｇ及び0.5mol／１リン酸緩衝液（pH7.0）20mlを加え，振とう機を用いて10分間激しく振り混ぜた後，静置し，水層を捨て，アセトニトリル層を採る。